

一関工業高等専門学校		開講年度	令和06年度 (2024年度)		授業科目	倫理
科目基礎情報						
科目番号	0018		科目区分	一般 / 必修		
授業形態	講義		単位の種別と単位数	履修単位: 2		
開設学科	未来創造工学科（一般科目）		対象学年	2		
開設期	通年		週時間数	2		
教科書/教材	プリントを配布し、教科書は使用しません。問題集を適宜利用します。					
担当教員	千田 芳樹					
到達目標						
【教育目標】B,F ①人間における倫理的問題の基礎を理解できる。 ②基本的な西洋の倫理思想を理解できる。 ③現代の倫理的な諸問題の基礎を理解できる。						
ルーブリック						
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
どんな事柄が倫理的な問題であるかを理解できる。	どんな事柄が倫理的な問題であるかを理解し、その分野について簡単に説明できる。		どんな事柄が倫理的な問題であるかを理解できる。		どんな事柄が倫理的な問題であるかを理解できない。	
古代・近代の西洋倫理思想を理解できる。	古代・近代の西洋倫理思想を理解し、習った学説・概念を簡単に説明できる。		古代・近代の西洋倫理思想を理解できる。		古代・近代の西洋倫理思想を理解できない。	
現代の倫理的な諸問題の基礎を理解できる。	現代の倫理的諸問題を理解し、その本質について簡単に説明できる。		現代の倫理的な諸問題について理解できる。		現代の倫理的な諸問題を理解できない。	
学科の到達目標項目との関係						
教育目標 B 教育目標 F						
教育方法等						
概要	倫理学の根本問題の一つは「善く生きる」とは何かを探究することである。この問題意識のもとで、身近な事象や現代的な社会問題を取り上げながら、西洋倫理思想からの解説を試みる。それを通じて、受講者には自分自身の「善き生」を考えてもらう。					
授業の進め方・方法	主に講義形式で授業を進める。必要に応じて、問題演習の時間を設ける。					
注意点	【事前学習・履修上の注意点】配布プリントを事前に読み、前回の授業内容等を振り返っておくこと。問題演習の時間を設けるので、学習内容の復習をしっかりと行っておくこと。 【評価方法・評価基準】試験結果100%で評価する。詳細は第一回目の授業で告知する。哲学者の倫理思想を中心とした基本事項の理解の程度を評価する。中間試験および期末試験の総合成績50点以上で単位取得とする。					
授業の属性・履修上の区分						
☐ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☐ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業
授業計画						
		週	授業内容	週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	オリエンテーション、および青年期と自己形成	授業への導入および説明、および人間の生涯における青年期の意義を理解できる。		
		2週	古代ギリシャの思想（1）	古代ギリシャの神話と自然哲学について理解できる。		
		3週	古代ギリシャの思想（2）	ソフィストとソクラテスの哲学を理解できる。		
		4週	古代ギリシャの思想（3）	プラトンの哲学を理解できる。		
		5週	古代ギリシャの思想（3）	アリストテレスの哲学を理解できる。		
		6週	ヘレニズムの思想	エピクロスとゼノンの哲学を理解できる。		
		7週	ユダヤ教	キリスト教の母体となったユダヤ教について理解できる。		
		8週	中間試験	中間試験		
	2ndQ	9週	キリスト教	キリスト教の展開を理解できる。		
		10週	キリスト教思想	キリスト教思想について理解できる。		
		11週	ルネサンス	ルネサンスについて理解できる。		
		12週	宗教改革（1）	ルターの宗教改革を理解できる。		
		13週	宗教改革（2）	カルヴァンの宗教改革を理解できる。		
		14週	近代科学の誕生	近代科学の誕生について理解できる。		
		15週	まとめ	前期のまとめ		
		16週				
後期	3rdQ	1週	近代哲学（1）	デカルトの哲学を理解できる。		
		2週	近代哲学（2）	スピノザ、ライブニッツの哲学を理解できる。		
		3週	近代哲学（3）	ベーコン、ロックの哲学を理解できる。		
		4週	近代哲学（4）	ロック、バークリの哲学を理解できる。		
		5週	近代哲学（5）	ヒュームの哲学を理解できる。		
		6週	近代政治思想（1）	ホッブズ、ロックの社会契約論を理解できる。		
		7週	近代政治思想（2）	ルソーの社会契約論を理解できる。		
		8週	中間試験	中間試験		
	4thQ	9週	モラリスト	モンテーニュ、パスカルの思想を理解できる。		
		10週	功利主義（1）	ベンサムの功利主義を理解できる。		

	11週	功利主義（２）	J・S・ミルの功利主義を理解できる。
	12週	カントの哲学（１）	カントの理論哲学を理解できる。
	13週	カントの哲学（２）	カントの道徳哲学を理解できる。
	14週	ヘーゲルの哲学	ヘーゲルの弁証法を理解できる。
	15週	まとめ	まとめ
	16週		

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
基礎的能力	人文・社会科学	社会	地理歴史的 分野	民族、宗教、生活文化の多様性を理解し、異なる文化・社会が共存することの重要性について考察できる。	2	前2,前7,前9,前11,前12,前13,前14
			公民的分野	人間の生涯における青年期の意義と自己形成の課題を理解し、これまでの哲学者や先人の考え方を手掛かりにして、自己の生き方および他者と共に生きていくことの重要性について考察できる。	2	前1,前3,前4,前5,前7,前9,前10,前12,後6,後7,後9
				自己が主体的に参画していく社会について、基本的人権や民主主義などの基本原理を理解し、基礎的な政治・法・経済のしくみを説明できる。	2	後6,後7
	工学基礎	技術者倫理(知的財産、法令順守、持続可能性を含む)および技術史	技術者倫理(知的財産、法令順守、持続可能性を含む)および技術史	技術者倫理が必要とされる社会的背景や重要性を認識している。	1	後3
				社会における技術者の役割と責任を説明できる。	1	後3
				環境問題の現状についての基本的な事項について把握し、科学技術が地球環境や社会に及ぼす影響を説明できる。	2	後3
				環境問題を考慮して、技術者としてふさわしい行動とは何かを説明できる。	2	後3
				様々な国の生活習慣や宗教的信条、価値観などの基本的な事項について説明できる。	2	前2,前7,前9,前10,前13,後4

評価割合

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	100	0	0	0	0	0	100
西洋倫理思想	100	0	0	0	0	0	100